

搔器

〔禮容筆粹三〕主貴人之御手水を掛候事、貴人之御手水をかけ候事、右の手にてひ。ま。や。く。の。え。の。中程を、持、左にて柄の末を持たとへば御酌をとり候ごとくかまへて、少も水をかけきる事なく、さらりとかけ可申也、左右順逆は其場の勝手次第なるべし、順とは貴人を我かたに見、左手にてひまやくのさきを取、逆とは主貴人を右の方に見奉りて、左手にてひまやくを深く取、右にてひまやくのえの末を取をいふ也、御ひぢの方へ深くかくれば御小袖に水かゝる事あるべし、尤心得べき也。○下

〔下學集<sub>下</sub>器財〕搔器

〔饅頭屋本節用集<sub>財加寶</sub>〕搔器

〔女用訓蒙圖彙<sub>湯殿具</sub>〕搔器

〔商賣往來〕搔器

〔女用訓蒙圖彙<sub>湯殿具</sub>〕

